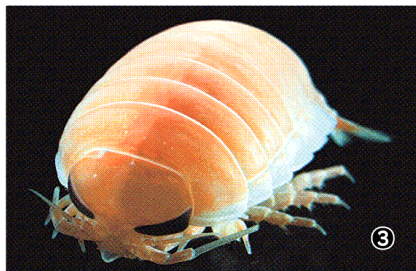
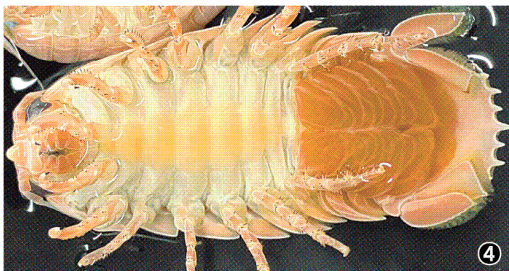
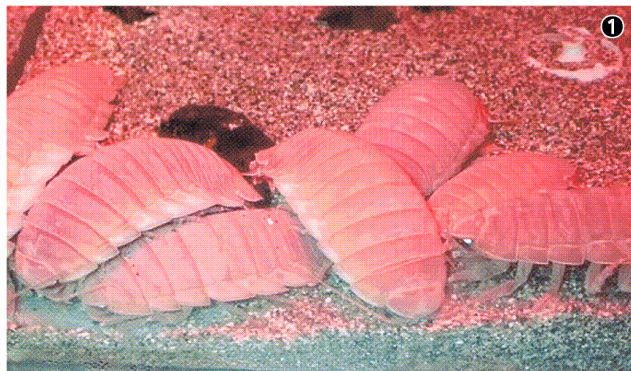


❶かごしま水族館にいるオオグソクムシたち❷オオグソクムシの口。丈夫な顎で餌をかじります❸オオグソクムシ。目が特徴的です❹腹側から見たオオグソクムシ。茶色い「腹肢」を動かして泳ぎます



オオグソクムシを知っていますか。写真で見ると、庭や林にいるダンゴムシにそっくり。しかし、大きなものでは体長が約10センチとダンゴムシの10倍ほどもあります。大きさは桁違いですが、ダンゴムシと同じ仲間の等脚類です。

大きさだけでなく、すんでいる所も食べ物も全く違います。ダンゴムシは陸上で落ち葉などを食べています。オオグソクムシのすみかは深い海。沈んできた魚やイカなどの死骸を食べることから「深海のおそうじ屋さん」とも呼ばれています。

オオグソクムシは、鹿児島ではタカエビ（ヒゲナガエビ）

オオグソクムシ 深海のおそうじ屋さん

カエビ（ヒゲナガエビ）漁で時々とれることがあります。水族館へ持ち帰って水槽に入れる時には注意が必要です。

深海では魚などの死骸が沈んでくることがめつたにないのでしょいか。おなかを減らしているようで、以前から水槽で飼育されているオオグソクムシに襲いかかってしまうことがあるのです。必ず餌も一緒にに入れて、共食いが起こらないようにしています。

餌を入れると、それまでじっとしていたオオグソクムシが動き始めます。中にはおなか側の後半分にある「腹肢」という脚をパタパタ動かして泳ぎ回るものもあります。餌にたどりつくと、丈夫な顎でかじって食べます。

海から来たばかりの頃は食欲が旺盛です。十分に餌を与えていると次第に落ち着き、仲間を襲うこともなくなっていくます。

（展示課魚類展示係主任・広瀬純）